

# 粗飼料確保緊急対策事業(ツマジロクサヨトウ被害のまん延防止対策)(8月8日時点)

○ ツマジロクサヨトウのまん延を防止するため、防除作業に係る経費や飼料作物の早期刈取りを行う際の発酵促進剤、飼料分析等の費用、防除等により不足する粗飼料及び濃厚飼料の代替飼料の共同購入等への支援を実施。

## ○ ツマジロクサヨトウ被害のまん延防止のための支援

### ① ツマジロクサヨトウの防除作業への支援

- 生産者集団等が、ツマジロクサヨトウの防除を行う際に必要な機械の導入等、薬剤等の資材の購入及び防除作業の委託費用の一部を支援

【補助率】 1/2以内



- 生産者集団等が、防除した飼料作物の薬剤の残留を確認する場合の分析の経費を支援

【補助率】定額

### ② 飼料作物の早期刈取り対策

- 生産者集団等が、早期刈取りした飼料作物をサイレージにする際に発酵促進剤等を共同購入により確保する場合には、購入経費の一部を支援

【補助率】 1/2以内

早期刈取りによる発酵不良



- 下痢、食欲低下
- 乳房炎発生
- 乳量、乳質低下
- 繁殖障害発生



発酵促進剤(乳酸菌等)



乳酸菌等を添加することによって発酵を促進

- 生産者集団等が、早期刈取りにより硝酸態窒素量を確認する必要がある場合の分析等の経費や飼料作物の撤去費用を支援

【補助率】定額

### ③ 代替粗飼料等確保対策

- 生産者集団等が、代替となる粗飼料及び濃厚飼料を共同購入により確保する場合には、購入経費の一部を支援

【補助率】 定額(5千円/t以内)



不足する飼料を確保



※ ツマジロクサヨトウは、とうもろこし、さとうきび、稲、豆類、いも類、野菜類など、広範囲な作物に被害を与える我が国では本年7月3日に初めて確認された害虫。

※ 上記の対策の他、ツマジロクサヨトウの被害農家に対して、配合飼料を安定的に供給するための対策を支援。

(令和元年8月6日 農林水産省植物防疫課作成)

## 飼料用とうもろこし及び飼料用ソルガムにおけるツマジロクサヨトウ防除対策について

本年国内で初めて発生が確認されたツマジロクサヨトウについては、現在のところ、飼料用とうもろこしの生産ほ場を中心に、一部のスイートコーン（未成熟とうもろこし）及び飼料用ソルガムの生産ほ場において発生が確認されています。

飼料用とうもろこし及び飼料用ソルガムにおける本虫による被害を抑制するためには、早期発見と作物の生育状況に応じた防除対策が必要です。

このため、それぞれの生産ほ場の状況に応じ、次の防除対策を実施するようお願いいたします。

### 1. 早期発見

生育初期に幼虫の食害を受けた場合、被害が大きくなると考えられることから、定期的に生産ほ場の見回りを行い、早期発見に努める。

### 2. 農薬散布

農薬散布が可能な生産ほ場では、農薬リスト（別紙）を参考に農薬による防除を実施する。散布にあたっては、新葉の葉鞘基部に潜り込んでいる幼虫に届くよう、株の上部までしっかりと散布する。

なお、周辺作物への農薬の飛散（ドリフト）には十分注意する。

（注）農薬の使用に当たり、不明なことがある場合には、病害虫防除所や普及指導センター等関係機関に相談ください。

### 3. 農薬による防除が困難な場合

草丈が高く農薬散布が困難な場合や隣接生産ほ場へのドリフトが懸念される場合は、次の取組を実施する。

#### (1) 早期刈取り・刈取り後の速やかな耕耘

- ① 収穫が可能な場合は、直ちに収穫・調製を行う。
- ② 刈取り後は、土の上に落ちた幼虫及び土中の蛹を防除するため、速やかに耕耘する。

#### (2) すき込み

直ちに収穫が困難な場合は、被害の拡大や虫の分散等を防止するため、

- ① 速やかにすき込みを実施する。
- ② すき込みの実施にあたっては、幼虫及び蛹を破碎、又は土中深く埋没するとともに、土の表面に作物が見えなくなるまで深耕すき込み（深さの目安 12cm 以上）を2回以上行う。

### 4. 前作に発生が確認された生産ほ場等における防除

- (1) 本虫が土壌中に蛹の形態で残存している可能性があるため、刈取り後は速やかに複数回の耕耘を行い、残存害虫を駆除してから播種する。
- (2) 生育初期に幼虫の食害を受けた場合、被害が大きくなると考えられることから、生産ほ場の定期的な見回りを行い、早期発見に努め、発生を確認したら直ちに農薬散布を行う。
- (3) 前作に発生が確認された生産ほ場の周辺生産ほ場においても、定期的に見回りを行い、早期発見、早期防除に努める。

(別紙)

【農薬リスト】飼料用とうもろこし及びソルガム(飼料用) (抜粋)

○飼料用とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(14459)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤(19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫90日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
MEP乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内

○ソルガム(飼料用)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
アセフェート水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

(注)BT水和剤に記載している( )内数字は登録番号。



# 「ツマジロクサヨトウ」に注意

## 飼料用とうもろこしに発生中

- ・南北アメリカで発生以降、アフリカ、アジアまで**発生範囲を拡大中**
- ・アフリカでは、とうもろこしに甚大な被害
- ・日本では本年7月に、**九州・沖縄で初めて発生を確認**
- ・**飼料用とうもろこしで多く発生しており、被害の拡大による畜産経営への影響が懸念されます**



### ツマジロクサヨトウの特徴

飛翔距離が長い、  
繁殖力が強い



- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150～200個
- ・生涯産卵数は最大1000個



・幼虫が葉、茎、子実を食害

幼虫の食害による被害



多発すると被害が大きくなるおそれ！！

早期発見・早期防除  
が不可欠



農薬散布による防除



### 被害の拡大防止のため、

- ✓ **飼料用とうもろこしのほ場を確認し、疑わしい害虫を発見した場合は、速やかに問合せ先までご連絡ください**
- ✓ 発生が確認されている地域（※）では、**農薬の散布、早期の刈取**を検討してください
- ✓ 地面に落ちている幼虫やさなぎを死滅させるため、**次期作の有無にかかわらず、刈り取り後は、速やかに、深耕すき込み（目安は12cm以上）**してください



早期の収穫



収穫後は速やかにすき込み

（※）ツマジロクサヨトウに関する情報はこちらで確認  
([http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/tumajiro.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html))



○問合せ先

○○県農林水産部○○課○○係

電話：○○○-○○○-○○○ FAX：○○○-○○○-○○○



# 「ツマジロクサヨトウ」にご注意ください。

トウモロコシ、イネ、サトウキビ、サツマイモ、野菜類を食害する「ツマジロクサヨトウ」と思われたらご連絡ください。



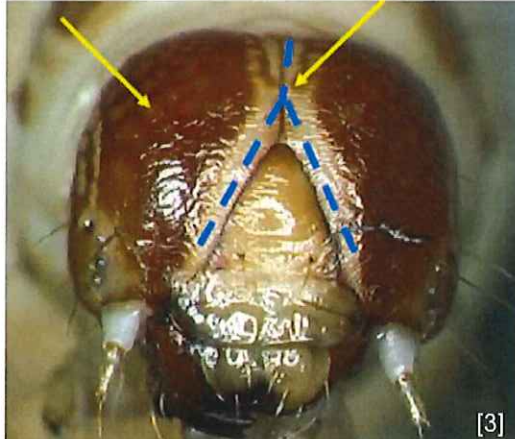
## 特徴

- 幼虫は大きくなると体長約4 cm, 体色は左の写真のように変化があります。
- 頭部には網目模様があって「逆Y字」に見えます。
- 若齢幼虫は区別できない場合があります。

網目模様

淡色部は逆Y字状

被害の状況



幼虫の寄生



[1]~[5] は植物防疫所原図

〇〇県農林水産部〇〇課〇〇係  
電話 : 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇  
FAX : 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇植物防疫所  
電話 : 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇  
FAX : 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇



## ツマジロクサヨトウに対しては 以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

### ○飼料用とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(14459)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤(19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫90日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
MEP乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内

### ○未成熟とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(19616, 19618, 19899, 21694, 21695, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤(19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
BT水和剤(14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	—
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
NAC粒剤	散布	雄穂抽出期～雌穂抽出期 但し収穫21日前まで		4～6kg/10a	2回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンプロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	4回以内
エマメクテン安息香酸塩乳剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
カルタップ粒剤	株の上から均一に散粒する	収穫7日前まで		6kg/10a	2回以内
クロマフェノジド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クオルフェナピル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
シペルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
ピリダリル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
フィプロニル水和剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
フェンパレレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4000倍	2回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
ペルメトリン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	4回以内
メタフルミゾン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
レピメクテン乳剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

○トウモロコシ(子実)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (19616, 19618, 19899, 21694, 21695, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤 (19885, 20653, 21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
BT水和剤 (14459)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	1000倍	—
MEP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
PAP乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
イソキサチオン乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
エトフェンプロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
エトフェンプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	4回以内
エマメクテン安息香酸塩乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
カルタップ粒剤	株の上から均等に散粒する	収穫7日前まで		6kg/10a	2回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クローフェナビル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
シペルメトリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
シペルメトリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
フェンバレート・MEP水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	4回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	2回以内
ベルメトリン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000倍	4回以内
メタフルミゾン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内

○サトウキビ

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BPMC・MEP乳剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
BPMC・MEP粉剤	散布	収穫45日前まで		3～4kg/10a	4回以内
BPMC乳剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
MEPマイクロカプセル剤	散布	収穫90日前まで	—	500～1000倍	4回以内
MEP乳剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
MEP粉剤	散布	収穫45日前まで		3～4kg/10a	4回以内
カルボスルファン粒剤	株元処理土壌混和	培土時		6～9kg/10a	1回
カルボスルファン粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		6～9kg/10a	1回
クロチアニジン水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	2500倍	3回以内
クロチアニジン粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		6kg/10a	1回
クロラントラニプロール・ジノテフラン水和剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	5000倍	3回以内
クロラントラニプロール粒剤	株元散布	生育期但し、最終培土まで		4～6kg/10a	1回
クロラントラニプロール粒剤	植溝土壌混和	植付時		4～6kg/10a	1回
フィプロニル粒剤	株元処理土壌混和	培土時		6kg/10a	1回
フィプロニル粒剤	植溝処理土壌混和	植付時		4～6kg/10a	1回
プロチオホス粉粒剤	株元処理土壌混和	生育期但し、収穫90日前まで		15kg/10a	2回以内
ベンフラカルブ粒剤	株元散布又は株元土壌混和	培土時		4～6kg/10a	1回
ベンフラカルブ粒剤	植溝土壌混和	植付時		6～9kg/10a	1回

○水稲

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (20479, 23943)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	60～150L/10a	2000～4000倍	—
BT水和剤 (20479, 23943)	無人航空機による散布	発生初期但し、収穫前日まで	0.8L/10a	16倍	—
EPN乳剤	散布	収穫60日前まで	—	1000倍	1回
MEP乳剤	散布	収穫21日前まで	60～150L/10a	1000倍 <sup>2</sup>	2回以内
エトフェンプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		3～4kg/10a	3回以内
エトフェンプロックス乳剤	散布	収穫14日前まで	60～150L/10a	1000倍	3回以内
スピネトラム水和剤	散布	収穫7日前まで	60～150L/10a	4000～6000倍	2回以内

(注) 飼料用米への農薬使用については、別途「飼料として使用する籾米への農薬の使用について」(平成21年4月20日付け21消安第658号 21生畜第223号)及び「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」で定められていますので、ご注意ください。

○稲(箱育苗)

農薬の種類	使用方法	使用時期	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
クロラントリニプロール粒剤	育苗箱の上から均一に散布する	は種時覆土前～移植当日	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	1回
スピノサド粒剤	育苗箱の上から均一に散布する	移植2日前～移植当日	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	1回
フィプロニル粒剤	育苗箱の上から均一に散布する	は種時覆土前～移植当日	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	1回

(注) 飼料用米への農薬使用については、別途「飼料として使用する籾米への農薬の使用について」(平成21年4月20日付け21消安第658号 21生畜第223号)及び「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」で定められていますので、ご注意ください。

○サツマイモ

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤 (21694, 21695)	散布	発生初期収穫前日まで	100～300L/10a	500倍	—
BT水和剤 (21694, 21695)	散布	発生初期収穫前日まで	100～300L/10a	500～750倍	—
BT水和剤 (19616, 19618, 19899, 20653, 21694, 21695, 21944, 23884)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	—
BT水和剤 (20479, 23943)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	—
BT水和剤 (20479, 23943)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100～300L/10a	2000～3000倍	—
EPN乳剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
PAP乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	4回以内
PAP粉剤	散布	収穫7日前まで		3kg/10a	4回以内
アラニカルブ水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000倍	5回以内
インドキサカルブ水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
エトフェンプロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
エトフェンプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	3回以内
エマメクチン安息香酸塩・クロラントリニプロール水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
エマメクチン安息香酸塩乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
クロマフェンジド水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントリニプロール水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～4000倍	3回以内
クロルフェニル水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000倍	2回以内
クロルフルアズロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000倍	5回以内
シアントラニプロール水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4000倍	3回以内
シベルメリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	2回以内
シベルメリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
シベルメリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	5回以内
シベルメリン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	5回以内
スタイナーネマ カーボカサエ剤	土壌灌注	老令幼虫発生期	500～2000L/10a	2億5000万頭(約100g)/10a	—
スピネトラム水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2500～5000倍	2回以内
ダイアジノン・メソミル粒剤	散布	収穫30日前まで		4～6kg/10a	2回以内
テブフェンジド水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2000～3000倍	3回以内
テブフェンジド粉剤	散布	収穫7日前まで		4kg/10a	3回以内
テフルベンズロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
ノバルロン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3000倍	2回以内
ピリダリル水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	2回以内
フェンバレレート・マラソン水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000倍	5回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	4000倍	2回以内
フルベンジアミド水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～6000倍	2回以内
プロチオホス乳剤	散布	収穫21日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内
プロフェノホス乳剤	散布	収穫7日前まで		1500倍	3回以内
メソミル水和剤	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	1000～2000倍	5回以内
メソミル粉粒剤	散布	収穫7日前まで		3～5kg/10a	5回以内
メタフルミゾン水和剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	1000～2000倍	3回以内
メキシフェンジド水和剤	散布	収穫3日前まで	100～300L/10a	4000倍	3回以内
ルフエスロン乳剤	散布	収穫14日前まで	100～300L/10a	2000～3000倍	2回以内
レビメクチン乳剤	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2000～3000倍	3回以内

○ソルガム(飼料用)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫45日前まで	100～300L/10a	6000倍	3回以内
アセフェート水和剤	散布	収穫30日前まで	100～300L/10a	1000倍	3回以内

(注) BT水和剤に記載している( )内数字は登録番号。